

可能性を秘めたインド市場への挑戦 和歌山県とマハラシュトラ州との覚書締結

シンガポール事務所

2013 年 10 月 9 日、和歌山県の仁坂知事はインドのマハラシュトラ州政府を訪問し、同州との間で観光交流や食品加工分野での経済交流を促進・拡大することに関する覚書の締結を行いました。

同州の概要と、覚書締結の背景をあわせて報告します。

1. 概要

(1) マハラシュトラ州の概要

マハラシュトラ州はインド西部に位置しており、アラビア海に面しています。面積は 30 万 7,713 平方キロメートル、日本でいうと本州・四国・九州を合わせた程の大きさです。35 の県、535 の都市部自治体、28,277 の農村部自治体があります。州都ムンバイの人口は、1200 万人とインドにおいて国内最大規模の都市となっています。

主要産業は食品加工をはじめ、自動車製造、製糖、石油化学、皮製品、電気製品、印刷出版、製紙等となっています。また映画と観光産業は州の経済を支える重要な産業になっており、ムンバイの映画産業の総称「ボリウッド」の名前で知られるように、インド映画の一大産地として有名です。

ムンバイにはタタ・グループなど有名なインド企業の本社が数多くあり、インドの金融と商業の重要な役割を担っています。



ムンバイの風景

(2) 和歌山県とマハラシュトラ州

今回、和歌山県がマハラシュトラ州と覚書締結に至った背景には、在大阪・神戸インド総領事館の前総領事の勧めがあったそうです。

その後交流を重ねていき、2013 年 8 月にマハラシュトラ州のチャガン・ブジュバル観光大臣が和歌山県を訪れた際に高野・熊野地域を視察したところ大変感動し、双方の関係が一気に深まりました。

和歌山県とマハラシュトラ州はともに世界遺産を有しているなど観光資源が豊富で、果物をはじめとする農産物や、食品加工の産業が盛んである等の共通点を有していることも覚書締結に至った要因の一つであるようです。

2. 覚書調印式

和歌山県とマハラシュトラ州の覚書調印式は、マハラシュトラ州のゲストハウスにて行われました。在ムンバイ総領事館の浅子総領事が同席され、マハラシュトラ州側からはプリスヴィラジ・チャバン首相をはじめ、チャガン・ブジュバル州観光大臣、ラダクリシュナ・ヴィケパティル州農林大臣が出席しました。

覚書締結に先立ち、仁坂知事はマハラシュトラ州の持つ豊富な観光資源や農産物などについて触れ、和歌山県は規模こそ大きくないものの、高度な食品加工や輸送技術などを有しており、インドの企業と協力して世界で活躍する可能性があるかと述べました。

これに対してチャバン首相からは、覚書を介してお互いの持つ観光資源を生かしながらより協力関係を深めていきたいとの発言がありました。

また、ブジュバル観光大臣からは和歌山県の訪問団と再会できたことに感謝の意が述べられるとともに、JICA の協力で建設されたアジャンタ・ビジター・センターについて、和歌山県の世界遺産センターと協力して PR していきたいとの意見がありました。

双方の意見交換を終えた後、仁坂知事とチャバン首相は覚書にサインしました。

午後には別の部屋で記者発表が行われ、その様子は翌日の地元紙の 1 面に掲載されるなど、ムンバイでも非常に注目されていることが伺えました。



覚書を締結し握手を交わす仁坂知事とチャバン首相

3. 和歌山県プロモーションイベント

覚書の調印に続いて、ムンバイ市内のホテルで和歌山県を PR するセミナーが開催され

ました。

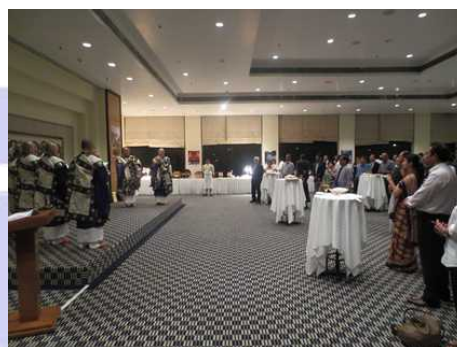
現地の旅行業者向けの観光セミナーと事業者向けの企業セミナーに分かれて実施された後に、両セミナー出席者を対象に知事のプレゼンテーションが行われました。

プレゼンテーションでは知事自ら英語で話をされ、関西国際空港から近く、交通の便も良い点や、高野山の独特の雰囲気、梅やみかんなどの豊富な農産物など和歌山県の持つ魅力を丁寧に説明されました。

また、多くの関係者が招かれたレセプションでは、和歌山県産の梅酒で乾杯が行われました。高野山関係者による声明（しょうみょう）が行われ、出席者は興味深く聞き入っていました。



英語でのプレゼンテーションを行う仁坂知事



高野山関係者による声明

4. 終わりに

今回の和歌山県インド訪問団には、行政だけでなく企業や高野山の関係者も同行しており、和歌山県の覚書締結にける熱意が伝わってくるようでした。

また、訪問団を受け入れたマハラシュトラ州政府のもてなしも丁寧なものであり、両者の関係が非常に良好なものであると感じました。

覚書締結を契機として、和歌山県とマハラシュトラ州の交流がどのように発展していくのか、今後注目していきたいと思えます。

(宮崎所長補佐 佐賀県派遣)